

令和5年度 研究発表会

下記のとおり、本学会主催の研究発表会を開催いたします。
(事前申し込み不要。会員外の方々の来聴も歓迎いたします。)

題目 「漢文訓読術向上の為に」

講 師： なめき やすお
行木 康夫 氏

(広尾学園高等学校 元河合塾)

◎終了後に動画配信を行う予定です。なお、開催形態に変更等が生じる場合がありますので、詳細につきましては、事前に本学会ホームページにて御確認ください。

【発表要旨】

3部構成で以下の内容についてお話しします。

- 第一部 漢文訓読の問題点 現在の主流と改むべき点
- 1 接続詞「而」
 - 2 仮定条件と確定条件
 - 3 連言の副詞の読み方
 - 4 「不復～」の意味
 - 5 二重否定の訳し方
 - 6 反語の訳し方
 - 7 目的語につける「ヲ、ニ、ト」
 - 8 姓と氏
- 第二部 大学入試に採用された文章の解釈の甘さについて
- 1 新潟大学『厚德録』「曹州於令儀」(87年)
 - 2 熊本大学『郁離子』「工之僑」(88年)
- 第三部 白文訓読の訓練の一方法
- 1 接続詞「而」「以」、前置詞「於」を使ったもの
 - 2 慣用句「～人有～者」を使ったもの
 - 3 大学入試問題に出されたものを使ったもの

日時：2023(令和5)年7月8日(土)

16:00～17:00

会場 湯島聖堂斯文会館 参加費：無料

【主催】 全国漢文教育学会

〒113-0034 東京都文京区湯島1-4-25 湯島聖堂斯文会館内

<http://www.zenkankyo.gr.jp/>